

# 岐阜県都市計画に関する基本方針 骨子案について

## ■基本方針の改定について

- ・本県における都市計画の基本的な考え方や方向性を示すもの。
- ・本方針を踏まえ、27の都市計画区域マスタープラン(都市計画法第6条の2)を策定している。
- ・都市計画区域マスタープラン(計画期間:10年(～R12))改定に向け、見直す。

### 【改定のポイント】

- ・近年の都市を取り巻く環境の変化を踏まえ、人口減少・少子高齢化に対応する持続可能な都市を目指すよう見直しを行う。
- ・地域特性を活かし、拠点が交通ネットワークでつながり、補完しあう都市を目指すよう見直しを行う。

### 【今後の予定】

- |           |                        |
|-----------|------------------------|
| 令和 9年3月   | 都市計画に関する基本方針 改定        |
| 令和 9～12年度 | 都市計画区域マスタープランの作成、法定手続き |
| 令和12年度    | 都市計画区域マスタープラン改定        |

## ■骨子案の概要

### 都市を取り巻く環境と都市づくりの課題

#### 1 人口

- ・人口減少、少子高齢化による労働力人口の減少
- ・職業上の理由等による若者世代の転出超過
- ・生活サービス・公共交通利用者の減少、効率の低下

#### 2 市街地の土地利用

- ・空き家、空き地の増加による市街地の低密度化
- ・空き家による防災、衛生、景観など生活環境への影響
- ・市街地拡大に伴うインフラ整備・維持管理の都市経営コスト増加による財政の圧迫
- ・中心市街地(都市の核となる拠点)の機能低下
- ・中心市街地での店舗数減少、商店街の衰退による地域活力の低下

#### 3 産業、観光

- ・中心市街地での店舗数減少、商店街の衰退による地域活力の低下
- ・東海環状自動車道等高速道路のインターチェンジ周辺や幹線道路沿道などの交通利便性の高い地域を活用
- ・魅力ある地域資源の活用

#### 4 公共交通

- ・自動車への高い依存
- ・公共交通利用者の減少による交通事業者の経営悪化の懸念、運転手の不足による運行縮減

#### 5 公共施設の整備・維持管理

- ・社会保障関係経費の増加等により厳しさが続く財政状況
- ・インフラの老朽化進行による維持管理費等の増加

#### 6 農林業、緑地

- ・農地等緑地の減少に伴う自然環境への負荷増大や防災機能の低下
- ・県民が心身ともに健康で安心して暮らせる環境づくりを目指したWell-beingの向上等に資する良質な緑地の確保

#### 7 地球温暖化

- ・温室効果ガスの排出による地球温暖化の進行
- ・地球温暖化による気候変動の影響拡大

#### 8 異常気象・大規模災害

- ・自然災害の激甚化、頻発化による被害の増大
- ・災害に対する都市の被害軽減と安全性確保

#### 9 その他

- ・テレワークの普及による暮らしや働き方の変化
- ・まちづくりにおける多様な主体の連携

### 都市計画に関する基本方針

#### 1 コンパクトな都市づくり

～都市機能(医療・福祉・商業等)や居住を集積した、暮らしやすくコンパクトな都市づくり～

#### 2 ネットワークでつなぐ都市づくり

～拠点を交通ネットワークでつなぎ、拠点が相互に連携した都市づくり～

#### 3 地域特性を活かした都市づくり

～魅力的で個性のある都市づくり～

#### 4 安全で安心な都市づくり

～災害に強く、安心して暮らせる都市づくり～

#### 5 環境と共生する都市づくり

～自然環境に配慮した環境負荷の小さな都市づくり～

#### 6. 多様な主体が連携した都市づくり

～行政、住民、民間企業など多様な主体による都市づくり～

### 基本理念と目指すべき都市の姿

#### 1 基本理念

##### 持続可能な都市づくり

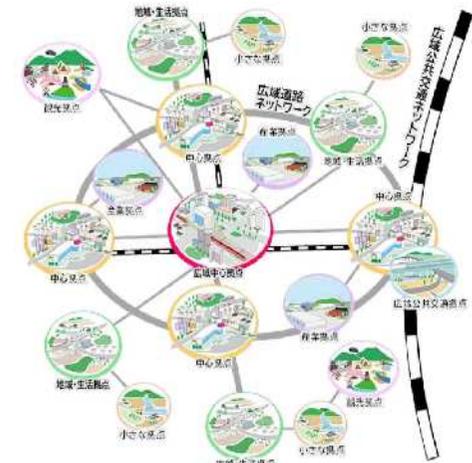
人口減少・少子高齢化に対応するため、生活利便性と都市活力を維持しながら、災害に強く自然と調和する「持続可能な都市づくり」を目指す。

#### 2 目指すべき都市の姿

##### 地域特性を活かし

##### 「コンパクト・プラス・ネットワーク」を実現する都市

人と地域の環境が共生し、安心して暮らせる都市であることを前提に、都市機能(医療・福祉・商業等)や居住を集積した拠点、豊かな自然環境や伝統文化など地域の個性を活かした拠点が、交通ネットワークでつながり、補完しあう姿を目指す。



※イメージ図